

海外医療に従事されておられる先生方へ

愛知国際病院では、海外医療協力を携わっておられる医師のみなさまのサポート体制を整えています。海外医療協力や、その為の留学準備中の方、発展途上国への医療協力と日本での医師としての働きをバランス良く行いたいとお考えの先生に、短期（有期）契約のご提案を致します。

例えば、6か月を日本、6か月をネパール。日本では、総合医として、在宅医療、入院、外来などバランス良くいろいろな仕事ができます。海外での仕事のために外科的な処置を勉強することも可能です。そして、残りの6か月は、海外のフィールドで働いていただく。例えば、1年のうちの3か月ぐらいを海外で働きたいという医師と、9か月海外で働きたいという医師がいて、そのような医師がコンビを組めば、安心して海外医療協力を続けられます（3か月日本という働き方をされる前に、まず6か月以上連続で勤務していただく必要があります。また、9か月日本というパートナーを見つける必要があります）また、近隣には単身者用の安価なアパートや、マンスリーマンションもございます。在勤中は非常勤でも特例として家賃補助（家賃の約半分、上限あり）を受けられますので住居に関する支出は少なく済むと思われます。病院から名古屋市中心部までは遠くありませんので、学会や研修会に出かけることも容易です。さらに、アジア保健研修所が隣接し、働きながらアジアのフィールドにつながることもできます。当院の常勤医師には、海外医療協力の経験者、熱帯病、公衆衛生の専門家も勤務しています。アジアの地域支援活動しながら、週に数回務めている非常勤医師も在職中です。いろいろな方法がありますので、ぜひご相談下さい。このような働き方をしたいとお考えの先生はもちろん、お悩みの先生をご存知でしたら、愛知国際病院のことをぜひお知らせください。アジアを支えるための働きを、私たちも応援したいと思っています。※給与など、待遇については、経歴や年齢などを考慮しご提示させていただきます。

小児科 井手初穂

■ 愛知国際病院の紹介

病院は、名古屋市に隣接した日進市の東端、みよし市との境界にある愛知牧場に隣接していて、東名高速道路の東郷サービスエリアからみえる、ベッド数72床のたいへん小さな病院です。基本方針は、「アジアの健康の増進への理解と協力」「キリスト教精神に基づく全人的医療」「地域と共にあり地域に支えられる医療」であり、そのもとになっているのは、理念である「神いやし我ら仕える」というキリスト教精神です。

1981年に開院し、開院翌年より患者さんのニーズに寄り添う形で、訪問看護と在宅医療を始めています。さらに、高齢化に伴い、自宅へ安心して帰れるように1992年、老人保健施設愛泉館が設立されました。また、愛知県にホスピスをという市民活動の熱い思いを受け、1999年に愛知県初のホスピス病棟を開設しました。また、自宅での介護が難しい状況の高齢者のために、本年2月に住宅型有料老人ホームカナンを開設いたしました。小規模ではありますが、内科、外科、整形外科、小児科、ホスピスの専任常勤医師がおり、急性期病床、地域包括ケア病床、ホスピス病床を持ち、在宅でのターミナルケアを含む訪問看護、在宅診療も行っています。

財団法人日本医療機能評価機構の『病院機能評価Ver.6認定病院』でもあり、常に、必要と必然を求めて変化している病院です。

■ 愛知国際病院と関わりのある海外医療協力に関わるNGO,NPO

アジア保健研修所AHI <http://ahi-japan.sakura.ne.jp/xcl/>

海外医療協力会JOCS <http://www.jocs.or.jp/>

とちノキネットワーク

(国連NGO)

CROSS

Bridge in Public Health

■日進市ってどんなところ？

愛知県日進市は、人口87,000人、東側が名古屋市、西側がトヨタ自動車本社と工場のある、みよし市、豊田市に隣接したベッドタウンです。また、日進市は「ど真ん中」に広大な田んぼがある田園都市でもあります。名古屋市、豊田市のすぐ近くでありながら、のどかで広々と住みやすい地域として人気があります。なお、愛知県は東京、沖縄に次いで3番目の人口増加率上位県です。さらに、日進市と隣接する長久手市、東郷町は上位BEST 3 という全国的にみても屈指の人口増加率を誇り、若く活気のある環境です。

■私たちの地域医療活動

病院の規模は小さいですが、近隣の病院、クリニック、施設などと連携して、在宅、入院、入所など、どのような状況でも対応できることを目指しています。健康講座、セミナーなどを積極的に開催して、健康維持や、病気の理解を深め、介護する家族の不安を和らげるようにしています。

また、当院の地域医療連携室、訪問看護ステーションでは、30年以上の経験によるノウハウにより、在宅医療を行っています。さらに、在宅では難しい場合の受け皿として、老人保健施設愛泉館、住宅型老人ホームカナンがあります。近隣には連携している老人ホーム、特別養護老人ホームもあります。このように、医師はそれぞれの専門性を生かしつつ、総合医として活動しています。

■海外での活動

愛知国際病院は、玄関を挟んで隣同士のアジア保健研修所（AHI）と同じ川原啓美医師によって創設されました。開院以来、アジア各国との交流があり、フィリピン、ピナツボ火山噴火のときには、以前より結核検診に行っていた被災地に物資の支援にも出かけました。海外ではありませんが、阪神淡路大震災の時には、混乱する現地に、当院から医師、看護師を、AHIよりボランティアコーディネーターの人的支援を行い、緊急支援のシステム作りにも貢献しました。

AHIの「現地のワーカーを育てる」という考え方から、病院から海外への医療派遣はしていませんが、スタッフがAHIのスタディーツアーや行事に参加することにより、アジアとの関わりは続いています。医師だけでなく看護師、スタッフにも、海外医療協力に参加して帰国した後、当院に就職した人がいます。また、仕事をしながら、自分の時間を使ってアジアとのいろいろなつながりを持っている人もいます。愛知国際病院は、今もこれからも、ニーズに合わせて変化しながら海外との関わりを続けていきます。

■プログラム・サポート体制

医師限定のプログラムでスタートします。

住まいと車を無料貸与いたします。ガソリン代、光熱費はご負担いただきます。

仕事は総合医として、病棟、在宅を中心に内科系の仕事です。本来の専門が内科でなくても、総合医として内科系の勤務が可能であれば、問題はありません。当直業務もあります。給与は、日本での経験年数に海外でされていた仕事の内容を加味して決まります。期間は、1ヶ月以上でお願いいたします。逆に年に1ヶ月とか3ヶ月だけ海外のフィールドに出かけたい方の日本での拠点として考えていただくこともできます。リピーター歓迎。初めて勤務されるときは、慣れていただく期間が必要ですので3ヶ月から6ヶ月ぐらい勤務していただけるのが理想と考えていますが、必須ではありません。

医療協力に出かけられる準備期間に6ヶ月勤務してから出発されることをご提案しています。隣接のアジア保健研修所が準備期間に重要な情報源となる可能性があります。

小児科医も不定期に募集いたします。小児科は外来のみです。外来以外に、総合医として内科業務にも従事していただける方を歓迎します。健康保険は、ご自身の国民保険でお願いいたします。

これから、一緒に働いていただきながら、システムを確立していきます。
興味のある方、ぜひご連絡下さい！

facebook（愛知国際病院国際医療支援室）リアルタイムな情報発信を行います。
<https://www.facebook.com/ahiimsr>

ホームページ（愛知国際病院国際医療支援室）普遍的なお知らせを掲載致しております。
<http://ahiimsr.wix.com/ahiimsr>

当院は、キリストの愛の精神にもとづく全人的医療すなわち、病める人の肉体的、精神的、社会的、霊的ないやしのために奉仕することをおして、地域社会の健康増進に寄与するとともに、アジア保健研修財団(AHI)と密接に協力し、アジアの草の根の人々の...健康を守るための医療活動に参加することを目標に設立されました。

医療法人財団愛泉会 愛知国際病院
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31
電話0561-73-7721（代表）

診療科

内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、リハビリテーション科
胃腸科、消化器科、肛門科、循環器科、リウマチ科

病床数（72床）

一般病棟 52床(うち地域包括ケア病床12床)、ホスピス病棟 20床

愛知国際病院（2015.5.19現在）